

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	高齢者総合福祉施設「めぐみ荘」
(2) 指定管理者	所在地 津山市山北 520 番地 名称 一般財団法人 津山市都市整備公社 代表者 理事長 植月 優
(3) 公の施設の所管部署	環境福祉部社会福祉事務所高齢介護課
(4) 指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日
(5) 評価対象期間	平成31年4月1日から令和2年3月31日

2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	総利用者数 54,837 人 入浴者 52,621 人 (市内 46,447 人、市外 4,461 人、マツ 373 人 他) 施設利用者 2,216 人 (会議室 285 人、ビリヤード 223 人、和室 1,708 人)
(2) 事業の内容	高齢者総合福祉施設として、温泉を利用した地域住民の健康の増進、交流と地域活性化、憩いとやすらぎ及び介護予防の拠点となるための取組みを実施。

3 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額	40,404 千円
	指定管理料	16,592 千円
	利用料金収入	22,702 千円
	その他の収入	1,110 千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額	41,515 千円
	主な支出 人件費	9,661 千円
	需用費	16,849 千円
	役務費	630 千円
	委託料	1,896 千円
	使用料及び賃借料	7,695 千円
	原材料費	3,799 千円
	負担金・公租公課	985 千円

別紙5

4 総合評価結果

(1) アンケート調査の概要	<p>利用者の利便性向上及び施設管理の充実を図るため、アンケートを実施。また自主事業等実施の際にもアンケート調査を行い、今後の事業展開の参考としている。</p>
(2) 指定管理者の自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の利用者数は、2月から3月にかけて新型コロナウイルス感染拡大の影響から、施設利用者及び入浴者が前年度に比べ減少した。(△1,098人) ・自主事業としてめぐみ荘の温泉水を津山市中心部のホテルに供給販売を行った。 ・こどもの日や冬至、正月など季節に合わせた各種イベントを開催し、集客に努めた。また、継続的なイベントとして、毎月26日には風呂の日イベントを開催した。 ・円滑な施設の管理運営を図るため、津山市加茂郷文化ふれあい施設運営委員会を開催し、施設運営等について助言や提案を受けた。 ・昨年度に引き続き、健康増進や介護予防を図るため、介護予防講座を計2回開催し、地域福祉の増進に努めた。 ・定期的な水質検査(レジオネラ菌等)と配管清掃等により、温泉の安全性を確保した。 ・加茂郷フルマラソン全国大会での利用者増加時には、給水車での臨時給水や整理券配布による入浴制限によって快適な利用環境を整備した。 ・収支については、光熱水費や下水道使用料等のランニングコストの割合が高いため赤字となっている。 <p>これらのことから、今年度は、良好に業務を推進したものと評価するが、次年度ではさらに利用促進を図り、施設設置目的に沿いつつ、収支改善に努める。</p>
(3) 市の評価	<p>地域の方々や利用者の意見を積極的に取り入れ、新たなニーズに対応したイベントの実施、さらに施設の設置目的である市民の健康の増進、交流及び介護予防の拠点施設としての役割を果たすための取り組み状況については高く評価できる。また、地域の方々の意見等を反映する委員会を継続して開催するなど、地域に根差した取り組みについても評価できる。収支の面では赤字が続いているが、今後のさらなる運営改善により黒字に転換できるよう期待する。</p>

別紙5

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	高齢者総合福祉施設「めぐみ荘」
(2) 指定管理者	所在地 津山市山北 520 番地 名称 一般財団法人 津山市都市整備公社 代表者 理事長 植月 優
(3) 公の施設の所管部署	環境福祉部社会福祉事務所高齢介護課
(4) 指定期間	平成 31 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日
(5) 評価対象期間	令和 2 年 4 月 1 日から令和 3 年 3 月 31 日

2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	総利用者数 47,975 人 入浴者 47,040 人（市内 43,720 人、市外 2,829 人、マツ 0 人 他） 施設利用者 935 人（会議室 241 人、ピリヤード 261 人、和室 433 人）
(2) 事業の内容	高齢者総合福祉施設として、温泉を利用した地域住民の健康の増進、交流と地域活性化、憩いとやすらぎ及び介護予防の拠点となるための取組みを実施。

3 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額	42,272 千円
	指定管理料	18,679 千円
	利用料金収入	20,154 千円
	継続・再開事業助成金	2,554 千円
	その他の収入	885 千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額	42,336 千円
	主な支出 人件費	12,429 千円
	需用費	15,779 千円
	役務費	439 千円
	委託料	1,716 千円
	使用料及び賃借料	7,650 千円
	原材料費	3,012 千円
負担金・公租公課	1,311 千円	

4 総合評価結果

(1) アンケート調査の概要	利用者の利便性向上及び施設管理の充実を図るため、アンケートを実施。
----------------	-----------------------------------

別紙5

<p>(2) 指定管理者の自己評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大に伴う津山市からの要請に応じて、4月中旬から5月末まで臨時休業し、営業再開後には検温、換気、消毒等の徹底した対策を講じながら、安心安全な施設の管理運営に努めた。 ・近隣のあば温泉と共通のスタンプカードを導入し、施設相互のPRと利用促進を図った。 ・七夕やハロウィン、クリスマス、正月、ひなまつり等の季節に合わせた各種イベントを開催し、子どもから高齢者まで幅広い世代の集客に努めた。また、継続的なイベントとして、毎月26日には風呂の日イベントを開催した。 ・円滑な施設の管理運営を図るため、津山市加茂郷文化ふれあい施設運営委員会を開催し、施設運営等について地域関係者の助言や提案を受けた。 ・自主事業としてめぐみ荘の温泉水を津山市内の2施設に供給した。 ・健康増進や介護予防を目的とした講座を計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大によりすべて中止した。 ・定期的な水質検査（レジオネラ菌等）と配管清掃等により、温泉の安全性を確保した。 ・利用者数および利用料収入について、新型コロナウイルス感染拡大の影響により前年度と比べ大幅に減少したが、GoToイート食事券や津山市プレミアム付きグルメ券「うまい券」等のキャンペーンに積極的に参加し、集客に努めた。 ・これらのことから、今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止を最優先にし、厳しい経済状況が続く中で津山市の協力を得ながら、最良に業務を推進したと評価するが、次年度は、社会情勢も注視しながら、更なる利用促進を図り、施設の設置目的に沿いつつも収支の改善に努めたい。
<p>(3) 市の評価</p>	<p>地域の方々や利用者の意見を積極的に取り入れ、ニーズに対応したイベントの実施、さらに施設の設置目的である市民の健康の増進、交流及び介護予防の拠点施設としての役割を果たすための取組みは高く評価できる。また、地域の方々の意見等を反映する委員会を継続して開催するなど、地域に根差した取り組みについても評価できる。新型コロナウイルス感染拡大に伴う、利用者減少にもプレミアム付きグルメ券などに参加し、積極的に集客に努めている。</p> <p>令和3年度は、引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながら、更なる利用促進を図り、収支の改善も含め施設の設置目的が達成されるよう運営されたい。</p>

別紙5

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	高齢者総合福祉施設「めぐみ荘」
(2) 指定管理者	所在地 津山市山北 520 番地 名称 一般財団法人 津山市都市整備公社 代表者 理事長 植月 優
(3) 公の施設の所管部署	環境福祉部社会福祉事務所高齢介護課
(4) 指定期間	平成 31 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日
(5) 評価対象期間	令和 3 年 4 月 1 日から令和 4 年 3 月 31 日

2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	総利用者数 28,087 人 入浴者 27,483 人（市内 24,328 人、市外 2,526 人、マツ 0 人 他） 施設利用者 604 人（会議室 174 人、ピリヤード 199 人、和室 231 人）
(2) 事業の内容	高齢者総合福祉施設として、温泉を利用した地域住民の健康の増進、交流と地域活性化、憩いとやすらぎ及び介護予防の拠点となるための取組みを実施。

3 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額	48,024 千円
	指定管理料	34,178 千円
	利用料金収入	13,135 千円
	その他の収入	711 千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額	48,242 千円
	主な支出 人件費	12,092 千円
	需用費	20,144 千円
	役務費	479 千円
	委託料	2,864 千円
	使用料及び賃借料	8,000 千円
	原材料費	3,402 千円
負担金・公租公課	1,261 千円	

4 総合評価結果

(1) アンケート調査の概要	利用者の利便性向上及び施設管理の充実を図るため、アンケートを実施。
----------------	-----------------------------------

別紙5

(2) 指定管理者の自己評価	<ul style="list-style-type: none">・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底し、検温・換気・消毒の対策を講じながら、安心安全な施設利用を第一にした管理運営に努めた。・緊急事態宣言やまん延防止等重点措置に伴う津山市からの要請により、5月16日から6月20日まで、8月20日から9月30日までを臨時休館、1月27日から3月6日までを酒類の提供自粛及び時短営業により対応した。・近隣のあば温泉と共通のスタンプカードを導入し、施設相互のPRと利用促進を図った。・所有のマイクロバスで送迎サービスを行い、宴会・法要等の団体客への利便性向上を図った。・七夕やハロウィン、クリスマス、正月、ひなまつり等の季節に合わせた各種イベントを開催し、子どもから高齢者まで幅広い世代の集客に努めた。継続的な催し物として、毎月26日には風呂の日イベントを開催した。コロナ禍を考慮し、加茂地域を中心にした各種展示により近隣住民の集客を図った。・円滑な施設の管理運営を図るため、津山市加茂郷文化ふれあい施設運営委員会を開催し、施設運営等について地域関係者の助言や提案を受けた。・自主事業としてめぐみ荘の温泉水を津山市内の2施設に供給し、施設を積極的にPRし、増収に努めた。・健康増進や介護予防を目的とした講座を計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大によりすべて中止した。・定期的な水質検査（レジオネラ菌等）と配管清掃等により、温泉の安全性を確保した。・利用者数および利用料収入について、新型コロナウイルス感染拡大の影響により一昨年度（コロナ前）と比べて大幅に減少したが、津山市プレミアム付地域商品券「さくら」や電子商品券「eつやま」、グルメ券「うまい券2」、GoTo イート食事券等のキャンペーンに積極的に参加し、集客に努めた。・これらのことから、今年度は、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止を最優先にし、厳しい経済状況が続く中でも津山市の協力を得ながら、良好に業務を推進したものと評価する。次年度もコロナ禍は続くと思われるが、社会情勢を注視しながら更なる利用促進を図り、施設の設置目的に沿いながら収支の改善に努めたい。
(3) 市の評価	地域の方々や利用者の意見を積極的に取り入れ、ニーズに対応したイベントの実施、さらに施設の設置目的である市民の健康の増進、

別紙5

	<p>交流及び介護予防の拠点施設としての役割を果たすための取り組みは高く評価できる。また、地域を中心にした各種展示、地域の方々の意見等を反映する委員会を継続して開催するなど、地域に根差した取り組みについても評価できる。プレミアム付地域商品券や電子商品券、グルメ券、GoTo イート食事券等のキャンペーンに積極的に参加し、集客に努めている一方、施設の利用者数に大幅な減少が見られ、厳しい運営状況となっている。</p> <p>令和4年度も引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながら、減少した市内利用者の増加に向け、ターゲットを絞り込んで集客企画やPRを行うなど利用促進を図り、収支の改善も含め施設の設置目的が達成されるよう運営されたい。</p>
--	--